

1. 事業説明シート

事業名	農業用河川工作物等応急対策事業 (国補)	事業箇所	南アルプス市八田	地区名	しかむらせぎ 四ヶ村堰	事業主体	山梨県
-----	----------------------	------	----------	-----	----------------	------	-----

(1) 事業の概要

①課題・背景
 四ヶ村堰は、釜無川に架かる双田橋上流 (甲斐市) で取水し、双田橋下流で釜無川河床をサイホン形式で伏せ越しし、南アルプス市東部の受益に農業用水を供給する基幹水利施設である。
 このうち、サイホン及び床止工は昭和26年度に築造されたもので老朽化が進んでおり、近年の豪雨等により床止工中央部の損傷が拡大し、治水機能に影響をきたしていることから、河川管理者から早期の改善を求められている。
 このため、適切な対策工事を実施し施設の安全性を確保することで、農業用水の安定供給と災害の未然防止を図るものである。

②整備目標・効果

□主要目標 ○農業用排水能力の向上
 ・施設老朽度 (使用年数69年) ÷ (耐用年数40年) = 1.73 ≥ 1.00※
 ・用排水能力の向上 (計画排水能力2.665m³/s) ÷ (現況排水能力2.665m³/s) = 1.00 ≥ 1.00※

□副次目標 ○農業生産力の向上
 ・農業所得増加額 761千円/ha ≥ 405千円/ha※
 (※評価基準値)

□副次効果 ○既存施設の崩壊危険性の排除

(2) 整備内容

①整備内容 床止工 (固定堰) N=1箇所
②着手年度 令和3年度 **③完成見込年度** 令和6年度
④総事業費 約300百万円
 (国費165百万円(5.5/10) 県費111百万円(3.7/10) 市費24百万円(0.8/10))

⑤年度別の整備内容 (事業費)

令和3年度	測量・設計	30 百万円
令和4年度	床止工	120 百万円
令和5年度	床止工	120 百万円
令和6年度	付帯工	30 百万円

※記載内容は見込みであり、確定したものではない。

⑥既整備内容・期間・事業費

- 事業名 かんがい排水事業 (四ヶ村堰地区)
- 整備内容 頭首工 N=一式、取水施設工 N=一式、導水施設工 N=一式
- 整備期間 平成14年度～平成23年度
- 総事業費 約2,030百万円

(3) 事業の妥当性評価 妥当 妥当でない

①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か)
 ・本地区の整備は、河川管理施設等応急対策基準にもとづき、行政が河川管理者から改善処置を必要されている河川内の工作物について対策を行うべきものである。

②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか)
 ・農村地域防災減災事業要領別紙7農業用河川工作物等応急対策事業に係る運用第3により、県が事業主体となって行うべきものである。

③経済妥当性

総事業費	300 百万円	工期	R3 ~ R6	基準年	R2
経済効率性	費用	2,243 百万円	便益	3,635 百万円	
	事業費用	205 百万円	作物生産効果	3,869 百万円	
	その他費用	2,038 百万円	営農経費節減効果	△277 百万円	
			維持管理費節減効果	△4 百万円	
			災害防止効果	47 百万円	
B/C		1.62			

費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。

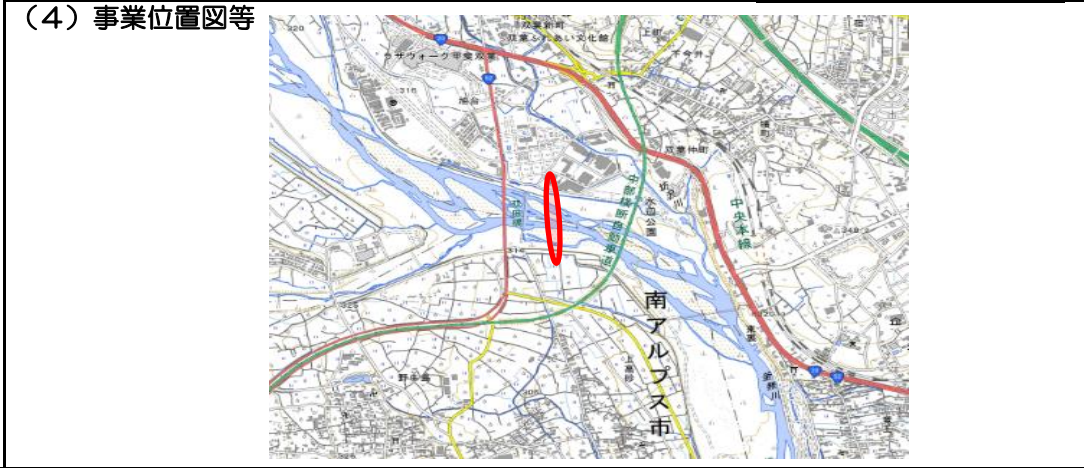
④事業実施・規模の妥当性
 ・河川管理者との協議に基づき、取水機能の確保と治水機能の改善を図る上で、必要な整備量としている。

⑤整備手法の有効性
 ・農業用河川工作物 (床止工) の施設補強を行う事業であることから、農村地域防災減災事業 (農業用河川工作物等応急対策事業) で対応することが妥当である。

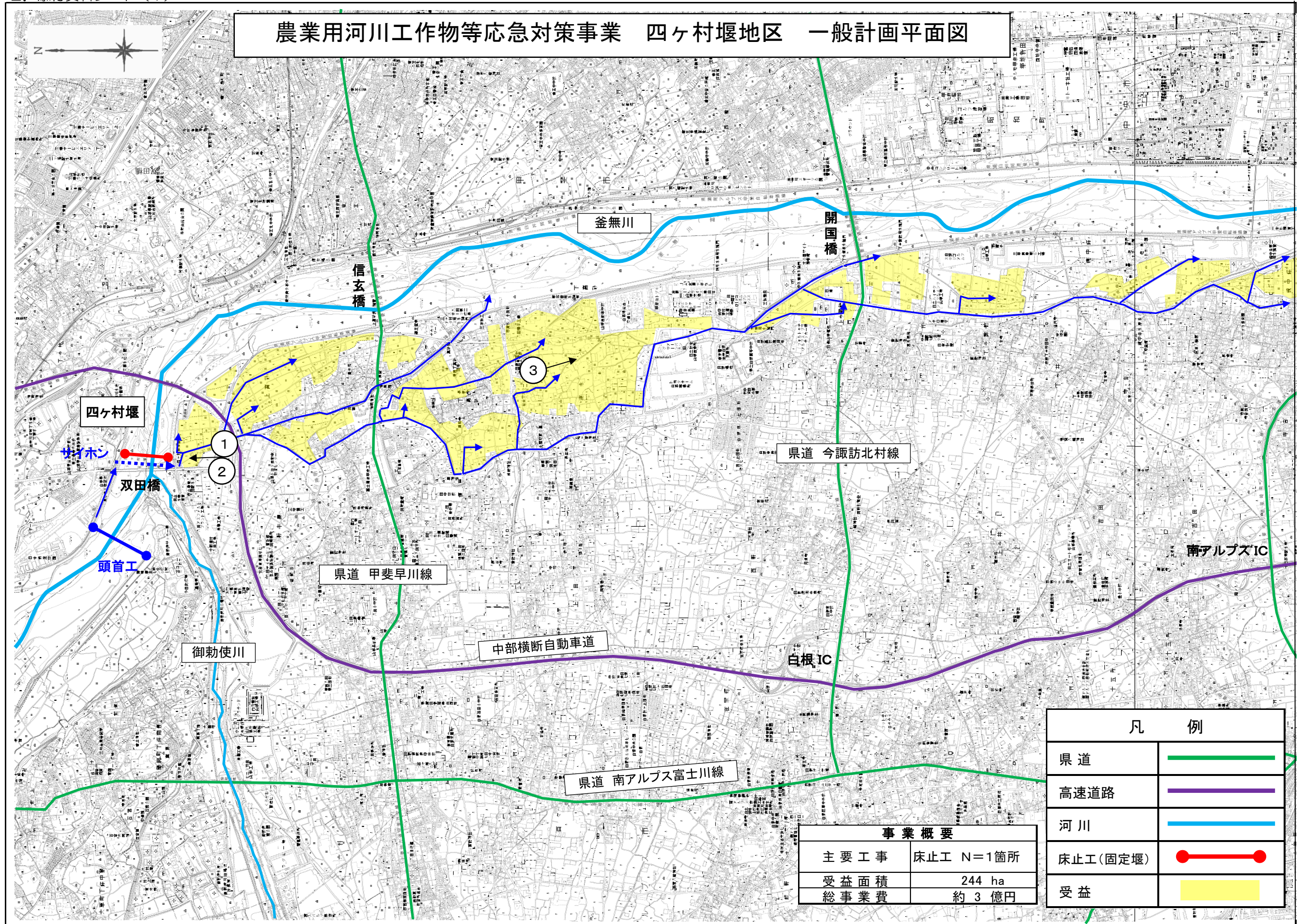
⑥環境負荷等への配慮
 ・工事の際は、水生生物の生息に配慮するなど環境への影響を最小限にするよう措置を講じる。

⑦事業計画の熟度
 ・早期着工の要望有り

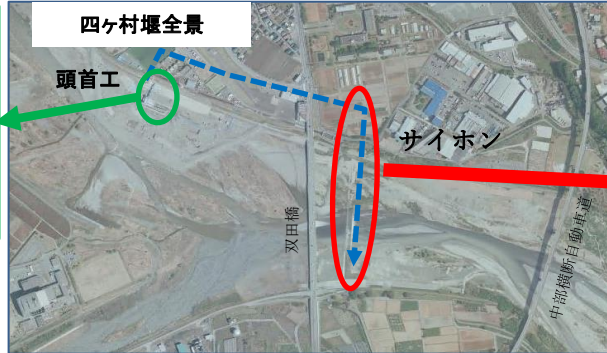
総合評価 [貢献度ランク: a]



2. 添付資料シート(1)



2. 添付資料シート(2)



②床止工が流水により洗掘されている。



① 四ヶ村堰 全景



③ 受益地の状況



施工範囲は、河川管理者との協議により選定し、不安定な箇所を補修する。